

第9期介護保険事業計画住民説明会意見集約

○ 開催期間： 令和6年1月10日（水）～令和6年1月19日（金）

○ 参加者数： 148名

● 三隅圏域説明会（令和6年1月10日）

参加人数：25名

No.	意見等	回答
1	第9期保険料が第8期に比べて136円上がったのは、要介護認定率が高いこと、介護医療院を35床整備すること、介護老人保健施設を6床整備することなどが影響しているのか。	<p>介護予防の取組により要介護認定率も下がってはきているものの、依然として認定率が高く、今後は微増していくことが予想されている。また、介護サービスを整備すれば保険料は上がるし、今後、国が示した報酬改定を加味して試算すると、もっと高くなることが見込まれている。</p> <p>こうした影響から保険料が高く試算されているが、基金を入れて上昇を抑えていきたい。</p>
2	第7期と比較して第8期は保険料が下がっている。下がった理由は、施設を整備しなかったことや、基金を入れた影響か。	<p>第8期保険料は、第7期よりサービス利用が少ないと見込んだため保険料を下げた。実際にはもう少し高い試算となっていたが、基金を投入して6,600円に抑えた。</p> <p>第9期計画は、介護サービスは充実させながらも保険料は抑えていきたい。</p>
3	<p>第9期計画のビジョンは良くわかった。</p> <p>第8期の取組結果から第9期の計画を立てていると思うが、実際にできたこと、できなかったことを具体的に教えてほしい。</p>	<p>第8期では、サービス圏域外流出を減らすという目標を掲げており、介護医療院の充実により約30人の圏域外流出を減らすことができた。</p> <p>介護予防に関しては、コロナの影響で足踏み状態だったが、第9期ではしっかりと取り組んでいきたい。第8期でできなかったことを第9期では受け継いでやっていきたい。</p>
4	「介護のすそ野」を広げる取組を進めるとあったが、具体的な取組を教えてほしい。	<p>介護人材の確保は難しいとは認識している。</p> <p>組合で、できることは限られていると</p>

		<p>感じているが、介護に関わる人を増やすため、入門的研修を浜田市、江津市で年2回開催している。この研修は、県内他保険者でも取り組まれているが、本組合は参加人数が多いと評価を受けているので、今後も続けていきたい。</p>
5	<p>【説明会後の意見】</p> <p>母親を看取ったが、年金だけでは施設にも入ることができない。そういう人達に対しての支援が必要ではないか。</p> <p>父親も介護サービスを利用しているが、自分が働き続けないと利用できないような状況。若い人への支援は多いが、これまで社会を築いてきた高齢者への支援が必要だと感じる。</p>	<p>負担限度額認定やグループホーム利用者負担軽減制度、高額介護サービス費について説明をした。(根本的な解決にはならないとの意見があった。パブリックコメントに意見を出してみるとのことであった。)</p>

● 桜江圏域説明会（令和6年1月11日）

参加人数：8名

No.	意見等	回答
1	<p>第8期計画書と第9期計画書の違いは何か説明してほしい。</p>	<p>第8期計画では介護サービスの流出抑制のため、介護医療院と看多機の整備を目指した。第8期中に一部できたものもあるが、介護医療院の未整備分を引き続き第9期で整備していく。</p> <p>第9期では、新たに定期巡回を整備することにしており、在宅で医療ケアが必要な方をしっかりと支えていきたいと考えている。</p> <p>こうした介護サービスの整備などにより、介護保険料も上昇することが予想されているが、そうしたところが大きな違いとなっている</p>
2	<p>介護保険料上がるのは仕方ないと思うが、第8期と第9期の違う点や、在宅サービスを充実していくといったところなど、しっか</p>	<p>第8期計画で一番問題視したのは、高齢者が意に反して圏域外の施設に入所せざるを得ない現状があることだった。</p> <p>その対策のため介護医療院などの整</p>

	りと説明してほしい。	<p>備を図ったが、第9期では更に在宅サービスの充実も図っていきたいと考えている。</p> <p>国も「在宅重視」の方針を打ち出しており、医療ケアが必要な人が圏域内の施設に入所できない場合でも、在宅でしっかりと受け止めるため、必要な在宅サービスの整備を目指したい。</p>
3	<p>9ページの円グラフに「島根県12.50パーセント」とあるが、これは補助金のことを指すのか。</p> <p>また、本組合というのは何を指すのか。</p>	<p>円グラフの右側は公費で、国、県、市の負担金の割合を指す。本組合の標記については、本来、市の負担金のことを指すのだが、介護保険を組合で行っているため、本組合としている。</p> <p>円グラフの左側は、皆さんから納めてもらう保険料となっており、65歳以上の第1号保険料と、40歳から64歳までの第2号保険料となっている。</p>
4	円グラフのパーセントは、人数を表しているのか。それとも金額を指しているのか。	<p>保険給付費に対する負担金の割合を示している。</p> <p>例えば施設給付費が1億円だったとすると、20パーセントの2,000万円を国が負担するということ。</p> <p>同様に、第1号保険料は23パーセントの2,300万円を負担することとなり、65歳以上の介護保険料で賄っている。</p>
5	介護老人保健施設が縮小すると説明があったが、なぜそうなったのか。具体的に教えてほしい。	<p>済生会江津病院が、医療ベッドの一部を介護医療院に転換するとの意向を示されており、実際、県に申請を出されたと聞いている。</p> <p>併せて、系列の老健が一部事業規模の縮小を考えていると聞いている。老健の件は、最終的な決定事項ではないことにご留意いただきたい。</p>
6	地域包括支援センターの強化とあるが、例えば人件費を増やすのか。	<p>地域包括支援センターは、浜田市、江津市が設置しているので、人数を増やすといったことは両市の考えになる。</p> <p>地域包括支援センターの役割のひとつ</p>

		<p>つである総合相談について、しっかり強化していく必要があると考えている。また、もうひとつの役割である医療介護連携についても、引き続き推進していく必要がある。済生会江津病院と介護サービス事業所、高齢者の家族も含め、どう支えていくのか検討が重要になってくる。</p> <p>現在もしっかりと取り組んでいるが、第9期では更に充実を図っていきたい。</p>
7	<p>基金はどれぐらい保有しているのか。</p>	<p>約10億円の基金があり、保険給付に使わなかった介護保険料の全てを積み立てている。今回のように保険料の上昇が予想される場合、基金を取り崩して保険料の上昇を抑えることに使う。</p> <p>この基金は、皆さんから預かっている保険料なので、大切にに使わせてもらおうと考えている。</p>
8	<p>先程、「基金を活用して保険料の上昇を抑える」と言ったが、いくらの設定を考えているのか。</p>	<p>すでに介護報酬の改定が示されているので、この影響を加味して計算し直すと7,000円近い試算になることも予想される。</p> <p>しかし、今以上の保険料を負担してもらうのは難しいのではないかと考えているので、第8期と同額の6,600円に抑えたいと思っている。</p>
9	<p>桜江圏域のデイサービスが撤退するというような話を聞いている。サービスがなくなることへの不安がある。</p>	<p>大きな課題だと捉えている。</p> <p>介護サービスは民間が行うことなので、なかなか難しいところではあるが、地元にある社会福祉法人などとも協力をして、桜江町全体の介護サービスが極端に縮小しないように考えていきたい。</p>
10	<p>現在、特養の待機状況はどうなっているか。</p> <p>一昔前は3年待ちといわれていたが、現状はかなり変わってきたのではないか。</p>	<p>第8期計画の策定に当たり、3年前に調査をしたところ、約8月待ちとなっていた。今回、3年ぶりの調査では、約6月待ちとなっている。</p> <p>あくまで、退所者数と入所者数を単純計算したものなので、現状と異なる印象</p>

		をお持ちの方もいると思うが、目安として、待機期間は短縮していると認識している。
--	--	---

● 浜田西圏域説明会（令和6年1月11日）

参加人数：3名

No.	意見等	回答
1	<p>通いの場の設置数について、浜田市と江津市の内訳を知りたい。浜田市が少ないのではないか。</p>	<p>人口規模でいうと、浜田市：江津市が約2：1だが、これよりも浜田市は多いと聞いている。浜田市は細かい団体も計上しており、両市での捉え方の違いはあるものの、しっかり介護予防、通いの場の取り組みを進めていると聞いている。</p> <p>コロナ禍で取り組みが足踏みをしていたが、コロナも落ち着いてきたので、通いの場の取組を今まで以上に進めていかなければいけないと考えている。</p>
2	<p>認知症サポーターの数 12,258人とあるのは、講習を受けた人の数を挙げているのか。</p> <p>サポーターに対して、何も連絡がないが、サポーターの位置づけが分かれば教えて欲しい。</p>	<p>サポーターの数は講習を受けた人の数（講習を受けてサポーター認定された人の数）となっている。</p> <p>認定後に情報提供を行うことや連携をとることは必要だと考えるが、第一は、認知症への理解を進めることが大切だと思っているので、まずはそこから取り組んでいきたい。ご意見は、今後の検討としたい。</p>
3	<p>すでに亡くなった人も、サポーターとしてカウントしていないか。（数の出し方が少し乱暴だと思う。）</p> <p>情報発信ということで、広報等にサポーター通信といったものを出してはどうか。そうすれば、市民もサポーターも見ることができし、一般市民の方でも認知症への理解を深めることができるのではないか。</p>	<p>今後の検討とさせていただきます。</p>

4	「健康寿命」など、言葉の解説があった方が分かりやすい。	概要版では省略しているが、計画書本体には、用語集を載せて説明をするように考えている。 「健康寿命」とは、日常生活が制限されることなく生活できる期間ということで、計画において指標としている。
5	計画の中で、和暦と西暦を併記しているのは良いと思う。 広域のことではないが、広報誌も県内8市で浜田市だけが和暦のみの記載となっている。他市を参考にして、西暦も併記してもらいたい。	今後、事業計画等を作成する際にも、見る人が分かりやすい表記となるよう努めていきたい。 広報への西暦の記載については、持ち帰りたい。

● 浜田東圏域説明会（令和6年1月12日）

参加人数：3名

No.	意見等	回答
1	自分は、以前、デイサービスに手伝いに行っていたが、職員の皆さんは日々の業務でいっぱいであった。業務中でも研修を受講できるような体制ができればいいなと感じていた。 若い職員には、研修を受講して利用者のへの接し方が変わった方がおられた。	事業所によっては、研修参加を業務として位置付けているところもあると思う。 組合では、事業所の職員を対象にキャリアアップに要する費用の一部を補助する事業を行っている。こうした事業も活用して、事業所全体のスキルアップに繋げてもらいたいと考えている。

● 江津中央圏域説明会（令和6年1月12日）

参加人数：15名

No.	意見等	回答
1	介護を担う職員は、現在何人くらいいるのか。介護職員が少ないのではないのか。その辺の調整をお願いしたい。	明確な人数は把握していない。 ただ、常に求人がハローワークに出ており、職員は不足していると認識しているし、今いるスタッフでできる限りのサービスを提供しているというのが実態だと思う。 人員不足の即時解決はなかなか難しいが、組合でも介護の入門的研修を実施

		<p>するなどし、介護のすそ野を広げる取組を進めている。</p>
2	<p>8 ページに地域住民の幸福度とあるが、この辺の調査はどのように行ったのか。</p>	<p>事業計画を策定するタイミングで、高齢者の方にニーズ調査を実施しており、その設問の中に幸福度という項目がある。65 歳以上の方で、まだ認定を受けていない人を対象とした調査で、無作為抽出で実施している。</p> <p>幸福度の捉え方等は、今後、研究が必要だと考えているが、主観的評価の項目としたい。</p>
3	<p>介護保険料が高すぎるとの声をたくさん聞き、物価が高騰する中、生活が苦しい。</p> <p>低所得者に配慮して、富裕層のところの介護保険料を上げるということも考えられるのではないか。</p>	<p>第 8 期では収入状況に応じて 12 段階で設定しており、基準額を 6,600 円としている。収入の少ない人の保険料は基準額より安く、逆に収入の高い人は基準額よりも高い設定をしている。第 9 期についても、第 8 期とほぼ同様な形で保険料を設定する予定としている。</p> <p>今後、国が示した報酬改定などを反映しつつも、基金を使って保険料が大幅に上昇しないようにしていきたい。</p>
4	<p>介護保険料が高い。</p> <p>また、ずっと納めていてもサービスが必要になったときに、直ぐに利用できるのかという心配がある。</p>	<p>今あるサービスを維持しつつ、介護医療院など必要なサービスを増やせば、どうしても保険料は高くなってくる。バランスを取りながら保険料は抑えていきたいと考える。</p> <p>また、必要な時に直ぐにサービスが使えるかという質問については、地域包括支援センターや市の担当窓口にご相談してほしい。要介護認定前であっても、暫定サービスの利用が可能な場合があるので、まずは相談してほしい。</p>
5	<p>民生委員であっても、要介護認定など住民のいろいろな情報は一切分からないため、何かあってもサポートもできない。情報を得る方法はないのか。</p>	<p>個人情報の問題があるので、全てを提供できるわけではないが、守秘義務のある民生委員には、ケースバイケースで対応することはできると考えている。</p> <p>気にしなければならぬケースがあ</p>

	<p>最近は、近所づきあいが希薄になり寂しく感じる。</p>	<p>る場合には、地域包括支援センターや市の担当課に相談していただきたい。</p>
6	<p>サービスが充実していて、安心して過ごせるのであれば、保険料が少しぐらい高くてもみんな払うだろうと思う。</p> <p>しかし、高砂ケアセンターが縮小するというような話も聞いたので少し不安に思うが、この計画では、現在不足している介護医療院などのサービスを充実していくということで間違いないか。</p>	<p>定期巡回と看多機のサービスについては、更に充実していきたいということで目標に挙げている。</p> <p>介護医療院については、高齢者が必要なサービスを求めて圏域外の介護施設に出ていることを踏まえ、圏域内に増やしたいということで目標に挙げている。</p> <p>老健は、済生会江津病院が介護医療院へ転換されるため、系列の老健が縮小すると聞いているので、一部を復元する。</p> <p>皆さんが満足するほど施設を増やしては、介護保険料が高騰するのでバランスをとりながら必要なサービスを整備していきたい。</p>
7	<p>特養待機は改善していると理解したが、194 人の方が待っているということについてどう考えるか。</p>	<p>あくまでも計算上、待機期間が短縮される傾向にあるということなので、ご理解をいただきたい。</p> <p>実際に施設に入所する際には、各事業所の判定会議などで入所が決定することになる。介護している方にとっては、大変な期間だと思うが、施設を作りすぎることの弊害もあるのでご理解いただきたい。</p>
8	<p>閉鎖されるデイサービスがあり、サービスが減少することに困惑される利用者がある。</p> <p>サービスがなくなる原因として、人員不足などが心配されるが実態はどうか。</p>	<p>利用の減少を理由に、松川のデイサービスが2月に閉鎖をされる。</p> <p>利用者の減少のほかに介護の人材不足という一面もあり、そこは危惧するところである。</p> <p>いずれにせよ、利用者や職員の皆さんの声も聞きながら、江津市に必要なサービスを考えていかななくてはいけないと思っている。</p>

9	<p>第8期でどれだけの方が転々としたのか。第9期では転々としないうで済むのか。結果と目標を数字で示してほしい。</p> <p>圏域内外の施設に入所されている方の総数を出さないと本当に必要な施設数は分からないと思うが、どんな見立てをして35床を増やすと目標を立てたのか。</p> <p>認定者数は、令和22年まで大きく減らない予想となっている。そうしたことからすれば、結局のところ施設に入れられない方がいるということ、きちんと数字で出してほしい。</p>	<p>現在、圏域に足りていないと考えられるサービスを整備していきたいと考えている。</p> <p>介護医療院35床の整備だが、今後、医療的ケアが必要な人が圏域外に出ることなく、圏域内に留まっただけで環境を整えたいとの考えから整備を目指している。浜田市内に介護医療院があることによって、以前と比べ30人程度の人が圏域内に留まることができている。</p> <p>令和22年度に向けて高齢化率や認定率が上がっていく中、どのくらいの方が施設入所を希望するのかといった数値は、持ち合わせていないのでご了承ください。</p>
10	<p>生活支援体制の充実と担い手の育成について、民生委員でさえ欠員が出ている状況下でできるのか。</p> <p>高齢者だけの地域もある中で、地域に任せるだけでいいのか。</p>	<p>民生委員でさえ決まらない地域があることは承知している。</p> <p>例えば、認知症サポーターなど介護の知識を持った方を育成し、多くの方が幅広く介護や認知症について理解をもらえるよう取組をすすめていきたい。そうした方々の支援が地域で繋がるような取り組みも少しずつ検討していきたい。</p>
11	<p>医療系在宅サービスを充実するとして、令和6年度に定期巡回1事業所を整備するとしているが、この整備だけで在宅高齢者やその家族を支援できるのか。</p> <p>お金がなくて介護サービス受けられないという人もいるが、この人達はどうするのか。</p>	<p>回答なし（他の質問において、類似の回答をしている。）</p>
12	<p>65歳以上の未認定者7,000人に対してニーズ調査を行っているとのことだった。こうした調査をする上で、本当に必要なのは満足度を知ることだと思うので、第</p>	<p>回答なし（他の質問において、類似の回答をしている。）</p>

	<p>9期のところでは、そうした項目も調査してほしい。</p>	
13	<p>介護医療院の整備などにより、特養でも待機期間が短縮していることは分かった。</p> <p>しかし、半年間待つのは非常に厳しいし、ヤングケアラーと呼ばれる若い人たちに負担がかかるケースもある。そうしたことも見据えた計画でなければいけない。</p> <p>また、圏域内でどれくらい介護離職があるのか調べた上で、それを反映した計画にしてほしい。</p>	<p>施設入所を待っている間、在宅の高齢者やその家族を支援することも考慮して、2つの医療系在宅サービスの整備を目指している。在宅サービスと施設サービスを上手に併用して必要なケアを受けていただくことが大事だと思う。</p> <p>また、介護離職やヤングケアラーの問題については、様々な視点で物事を考えるという意味で非常に重要だと言われているので、計画を進める上で検討したい。</p>
14	<p>国の介護報酬改定はどれくらいになるのか。</p>	<p>前は全体で0.7%程度の報酬改定だったが、今回は全体で1.54%程度。</p> <p>詳細な内訳については、承知していないが前回よりは若干改定率が上がっていたと認識している。</p>
15	<p>保険料が上がったら困るという声がある。</p> <p>基金がどれくらいあって、どれだけ使えるのか。また、どれくらい残す考えがあるのか示してほしい。そのうえで、保険料は下げしてほしい。</p>	<p>基金は約10億円ある。</p> <p>65歳以上の方が納めた保険料は、サービス全体の23%相当に充てるが、見込んだ保険給付より少なかった場合には、余剰部分を基金として積み立てている。</p> <p>保険料を100円下げると、約1億円が必要になるが、枯渇してしまうと第10期に基金がなくなり、保険料を調整することができなくなってしまいます。</p> <p>保険料が上昇しないように基金を活用したいと考えているが、全部を使うことは考えていない。</p>
16	<p>保険料や処遇改善については、両市の市長が全国市長会を通じて国に改善を求め、働きかけをするとあった。</p> <p>どこでも当たり前前に介護職員の確保ができ、施設も整備できる</p>	<p>国への働きかけは、組合から直接していないが、市から県を通じて国に働きかけをしている。</p> <p>今回の報酬改定においても、市長会や知事会などが請願したこともあり、大幅なプラス改定が実現したものと考えて</p>

<p>環境をきちんと整えてほしい。そもそも国で整備をしてもらわなければならないと、強気に働きかけていただきたい。</p>	<p>いる。</p>
--	------------

● 弥栄圏域説明会（令和6年1月15日）

参加人数：12名

No.	意見等	回答
1	<p>基本目標に介護人材の確保と質の向上とある。</p> <p>介護職員になる人が少ないように感じている。給与面など、一般企業との差はどうか。</p>	<p>介護職員の賃金が高業種と比べて低いということもあり、国も報酬改定のたびに処遇改善加算の上乗せを行って改善を目指している。</p> <p>人材確保については、賃金面も重要だが、職員の処遇に関する事、職員同士のコミュニケーションや働きやすい職場環境というのが重視されているようである。賃金を上げれば人が集まるわけではないということも聞くので、働きやすい職場になるような情報提供をしていく必要があると思っている。</p>
2	<p>弥栄福祉会も人材不足で困っている。</p> <p>ケアマネ資格を持っていても更新しなければだめになるし、その穴埋めができないということもあるようだ。これだけ人が足りないのであれば、この辺り何とかならないのか。</p>	<p>ケアマネ資格の更新は5年ごとに行うことになっている。これはケアマネの質を確保するためなので、この更新を不要とするような制度改正はないと考えている。ただ、今回の改正でケアマネ1人が担当できる人数を増やすなど、国も人手不足に対応しようとしている。</p> <p>組合としても、入門的研修などを通じて、介護に携わっていなかった人に介護のことを理解してもらうなど、啓発を行っていきたいと考えている。</p>
3	<p>介護現場は、職種によって人が集まるサービスと、集まらないサービスとに分かれると思う。</p> <p>自分はヘルパー事業所で働いているが、ヘルパーには人が集まらない。1人で訪問して、様々な判断を必要とする難しさがある</p>	<p>回答なし（介護現場の現状について、意見を述べられた。）</p>

	<p>ので、特に若い人の応募はない。ヘルパー全体が高齢化しているように感じる。</p>	
4	<p>介護保険で、かなり助けてもらってはいるが、家で介護をする負担はかなり大きい。</p> <p>介護者が倒れる前に施設に入れればいいが、なかなか入れない。</p>	<p>回答なし（自宅で両親の介護を行っている現状について、意見を述べられた。）</p>
5	<p>施設も、手がかからない人をたくさん見る方が良いのは分かるが、手がかかる人も受け入れてもらえるよう広域からも指導をしてほしい。</p> <p>手がかかる人ほど施設等で見てもらって、介護している家族が楽になるようにしてほしい。</p>	<p>回答なし（施設入所について、意見を述べられた。）</p>
6	<p>社協が生活支援体制整備事業をやっていた時は、地域に出かけてもらって、とても元気をもらっていた。市では同じようにできないのかもしれないが、介護予防に重点を置くのであれば、もう少し充実させてもらいたいと思う。</p> <p>外出できる人は、それなりに介護予防になっているが、出てこられない人こそ介護予防が必要だと思うので、そのあたりをもう少し見てもらえると良い。</p>	<p>ご意見として受け止める。</p> <p>【弥栄支所の回答】</p> <p>浜田市の本庁が、この事業を担当しているので話をしていきたい。</p>

● 江津東部圏域説明会（令和6年1月16日）

参加人数：12名

No.	意見等	回答
1	<p>基本構想や基本目標の説明があったが、より具体的な内容や整備計画はあるのか。</p>	<p>計画の内容を詳しく記載した事業計画書がある。</p> <p>この中では、概要版で説明した6つの基本目標を柱とし、具体的にどんな事業をするのかといったことが記載してあ</p>

		<p>る。更に詳しい事業内容については、事業の実施主体である浜田市、江津市の高齢者福祉計画に記載してあり、2つの計画が連動するような作りになっている。</p> <p>第9期のサービス整備については、サービスの圏域外利用に対応するための介護医療院や在宅サービスの充実を図るための地域密着型サービスを整備することになっている。</p>
2	<p>介護人材の確保について、離職する人が多いため、労働条件の向上をしていかなければならないと思うが、どのような働きかけをしていくのか。</p>	<p>人材の確保については非常に難しい課題だと感じており、国の施策でもなかなか成果として見えてこないのが現状。</p> <p>国は介護職員処遇改善加算の改定を過去3回実施しているほか、第9期においても1.59パーセントの報酬改定を行い、介護職員の賃金改善が図られるよう取組を進めている。</p> <p>事業所からは、賃金を上げるだけでは人は来ない。人の定着には「職場環境の改善が重要な要素である」というような声も聞いている。</p>
3	<p>介護保険料は各市で違うと思うが、全国的にみてこの圏域はどのようなのか。保険料やサービスに差があるのは仕方ないと思っているが、この計画の中では自助、共助の事ばかりで公助はどうなっているのかと感ずる。</p> <p>国の制度なので仕方ない面はあるが、公的な助成が増えるよう市長会や知事会を通して働きかけをしてほしい。</p>	<p>全国平均は6,000円程度と記憶をしているが、第8期では県内で3番目に高い保険料となっている。</p> <p>保険料が高い理由として、要介護認定率が高いことが挙げられる。また、一方では、介護サービス事業所の数も多く、サービスが充実しているという一面もある。第9期においては、サービスを充実させながらも、介護予防に取り組み、認定率が上がらないように努めたい。</p> <p>今回の報酬改定に関しては、市長会や知事会の声が反映されたとの情報もあるので、そうしたところを通じて引き続き声を届けていきたい。</p>
4	<p>保険料が上がることになったら、基金を投入すると言われた</p>	<p>基金の積立額は約10億円。</p> <p>保険料は他の事業等には使えないた</p>

	が、基金の金額、使い方をどう考えているのか。	め、過去使わなかった保険料の全てを積み立てている。 この圏域では、保険料を100円下げるために1億円が必要になる。先ほど、第9期保険料が第8期より136円高くなると言ったが、1億3千6百万円投入すると第8期と同じ6,600円に設定することができる。極力、保険料が上がらないようにしたいと考えている。
5	老健施設が少なくなるという説明だったが、具体的に教えてほしい。	済生会江津病院の医療病床が介護医療院へ転換することに伴い、系列の老健を縮小すると聞いている。 圏域内の老健にヒアリングしたところ6床程度であれば増床できるというような事業所もあったので、その数を見込んでいる。
6	在宅サービスの充実について、地域包括支援センターの関わり方を具体的に説明してほしい。	両市が地域包括支援センターを設置しており、地域の高齢者にとって核となる仕事を担っている。高齢者の家族や本人の困りごとなど、どこに相談していいかわからないということがないよう総合相談の機能強化を図っていきたい。 また、医療介護連携の面においても、退院患者を在宅や介護サービス事業所へ繋げるための仕組づくりを進めていく必要があると考えている。
7	住民説明会で出た質問等は公表するのか。	意見集約してホームページ等に掲載しようと考えている。

● 浜田中圏域説明会（令和6年1月17日）

参加人数：4名

No.	意見等	回答
1	期ごとに高くなっており、保険料のことが一番心配。子育て支援の費用を介護保険料に上乗せすると言ったような話も聞いたが保険料はどうなるのか。	介護保険料に子育て支援策の費用を上乗せすると言った話は聞いていない。 65歳以上の方の保険料は、保険給付の23%を賄うこととなっており、その試算が6,736円。介護報酬の改定等によって、この保険料はさらに高くなることが

		<p>想定されているが、基金を投入して今の状態を維持したいと考えている。</p>
2	<p>利用者負担が1割から2割に増えると言った話も聞くので、負担が大きくなることに不安を感じる。</p>	<p>現在の負担割合は1~3割となっている。浜田圏域では殆どの方が1割となっており、大抵の方は1割に収まると考えている。</p> <p>介護保険制度を維持していくためには、負担能力に応じた利用者負担はいたしかたないと思っているので、理解してほしい。</p>
3	<p>住みなれた地域で暮らしていきたいので、この在宅サービスを充実させることは、いいことだと思う。それと必要な施設は建ててほしい。</p>	<p>介護医療院は1施設あるが、まだ不足しているため、やむを得ず県外へ出て行かれる方がいることは承知している。</p> <p>こうした方が少しでも減るように、第9期でも介護医療院の整備を進めたい。</p> <p>また、在宅介護を支えるために必要な訪問看護が含まれるサービスを整備していきたい。</p>
4	<p>人手不足だと聞くが、施設を建てることはできるのか。</p>	<p>人材不足は介護に限ったことではない。新たに介護職場に就労してもらるように、介護の仕事に関する研修なども実施している。</p> <p>また、現在働いている人が働きやすい職場や、労働環境を整えることも必要だと考えている。国も報酬（賃金）改定のほか、ペーパーレスなど業務の効率化を目指した働きかけを積極的に行っている。</p>
5	<p>自分は介護が嫌だったわけではないが、職場の考え方や環境が合わなかったので退職した。</p> <p>せっかく若い人が就職しても、非効率な環境では、介護離れは止まらないと思う。働いている人の声も聴いて、労働環境を整えるようにすすめてほしい。</p>	<p>これまでは新しく就労する人を増やすことに目を向けていたが、これからは今働いている人のための環境整備も必要だと考えている。</p> <p>国も働きやすい環境を整えるような制度改正をしている。保険者も、介護事業所から相談があった場合は丁寧に対応している。</p>

No.	意見等	回答
1	<p>介護保険を使わなかった人に、何かメリットはないのか。</p> <p>今より良くするためには、施策を打つのが大事。</p>	<p>介護保険は、公的な保険制度であり、その財源を自由に使うことはできないことをご理解いただきたい。</p> <p>江津市では、介護予防ポイント制度を行っており、ポイントに応じて賞品と交換ができるなど地域住民のみなさんが楽しく介護予防の活動を行えるような工夫をしている。</p> <p>介護予防の取組に対して、還元できる仕組みは引き続き検討したい。</p>
2	<p>最近個人情報保護の問題もあり、地域の繋がりが希薄になっている。隣の人がどんな人なのかも分からないので、このような状況を何とかしてほしい。</p> <p>また、介護事業所の職員が減っている中でも地域住民は介護を受けている。これを目指す姿に向かっていくために、やみくもに壊してしまって、本当に介護人材を確保できるのか。</p>	<p>人が繋がる、地域が繋がるということはとても大切なことだと思っている。それを踏まえた上で、概要版 P5 の図のような地域を目指して、江津市とも一緒に頑張っていきたい。</p>
3	<p>この地域でも、いきいき百歳体操などを通じて、通いの場の取組をしている。</p> <p>こうしたサロン活動には、江津市からたくさんのお金が出ているが、サロンに参加できない人は恩恵を受けていないし、孤立している。</p> <p>サロンに多くのお金を費やすのであれば、地域の繋がりを大切にするような取組にしてほしい。予算を有効に使ってほしい。</p>	<p>いきいき百歳体操は、一定の筋力アップに効果があると言われているが、体操だけをしてほしいのではなく、何かをきっかけにして、地域の方々が集まって楽しく過ごしたり、情報交換をしてもらいたいというのがこの事業の趣旨である。ご理解いただきたい。</p> <p>地域のみなさんの声は、地域ケア会議などを通じて、しっかり届けてもらいたいと思っている。</p>
4	<p>令和6年度、浜田圏域では何をするのか。</p>	<p>3年を1期として計画を立てているので、令和6年度の取り組みとして説明す</p>

		<p>るのは難しいが、特には介護予防や健康づくりの取り組みである。</p> <p>また、この圏域では医療ニーズのある方が広島県の施設に行かれるという課題があるため、介護医療院等のサービスを整備し、改善を図っていききたい。施設整備だけでなく、在宅サービスの充実も図っていききたいと考えている。</p>
5	<p>国の報酬改定が示されたら、介護保険料は今の試算より上がるのか。</p> <p>基金を活用して、保険料が上がらないようにしてほしい。</p>	<p>今の試算よりも上がる。</p> <p>基金を活用して、第8期よりも上がらないように考えている。</p>
6	<p>老人ホームの入所待ちの人はいるのか。</p>	<p>特別養護老人ホームの入所待ちは、6か月となっている。</p> <p>申し込み順ではなく、施設が設けている入所判定委員会で、入所の必要性に応じて入所者を決めている。</p>
7	<p>特養入所者の介護度の割合はどうなっているのか。</p> <p>介護度が軽い人はいつまでも入れないのか。</p>	<p>特養は、基本的に要介護3以上の方が入所できる。入所者の割合は、介護度の重い方の方が多いと思う。</p> <p>入所の順番は介護度だけではなく、介護をする家族の状況等も併せて総合的に判定されている。</p>
8	<p>認知症の人は早くは入れるのか。</p>	<p>状況によっては、あるかもしれない。</p>
9	<p>自分は、施設に入るのは良いが、江津を出て知らない人の中で暮らすのは不安で嫌だ。</p> <p>そういう所で、きちんとしたケアをしてもらえるのか。施設に入ってからうつ病などになったりすることがないようにしてほしい。</p>	<p>それを課題だと思っている。</p> <p>この圏域に入れる施設がないから、大田や広島に行くといったことがあってはいけないと思っている。</p> <p>他県の施設に行かれると、精神面の落ち込みや、死期が早まることもあるとドクターから聞いたことがある。</p> <p>そうならないためにも、この圏域で暮らしていただけるように施設やサービスを充実していききたいと思っている。</p>

10	<p>今は、施設の面会は家族のみで、友人などは入れてもらえない。自分だったら、友達が来てくれると嬉しいと思う。</p> <p>面会者の範囲を広げるようなこともしてほしい。</p>	<p>事業所に聞くと、コロナの影響で、面会についても、なかなか以前のようには戻せないと聞いている。</p> <p>しかし、もっともなご意見だと思うので、機会をみて事業所にも話を伝えていきたい。</p>
11	<p>目指す姿について理解できる。</p> <p>ただ、デイサービスの事業所では、利用日が減っていたり、時間が短くなったりしていて、すでに、目指す姿にある「環境の維持」は出来ていないのではないかと思う。</p> <p>住み慣れたところでサービスを利用したくても、受け入れができず、やむを得ず広島へ行く方もいると聞いているので、ここにある基本構想の意味が良く分からない。何を目指しているのか。</p>	<p>デイサービスで、半日で帰ってくる方がいるということだったが、利用するサービスの内容については、ケアマネのケアマネジメントによって決められているので、必要なサービスは受けていただいていると思っている。</p> <p>また、基本構想については、高すぎる目標だと言われるかも知れないが、目指す姿としてイメージしている。</p> <p>必要なサービスを受けることができないため、やむを得ず広島に行かなくてもいいようにサービスの質を向上させ、この圏域で受け止めていきたいと考えている。</p>
12	<p>事業者の働き方改革などといった目線と利用者のニーズには、ミスマッチがあるのではないか。</p> <p>中学校区で検討会が設置されているが、校区内でもニーズが違っている。集落ごとの状況が分かるように出前講座などの勉強会をしてもらいたい。</p> <p>無関心な人に関心を持ってもらい、メンバーが固定化した検討会に新しい人を取り込みたい。</p>	<p>ニーズの違いは理解している。</p> <p>協議体や介護予防については、コミュニティ単位で話をするのが良いのではないかと考えている。</p> <p>コーディネーターや保健師とも話をしていきたいと思う。(江津市)</p>
13	<p>認定率が高くなるとどのような影響があるのか。</p> <p>認定率の目標指標をみると、かなり下げようとしているが、できるのか。</p>	<p>認定者の割合が増えれば、給付費が増加し、保険料が上がることになる。</p> <p>認定率を下げるのは難しいが、介護予防と健康づくりに取り組むことで、島根県の平均を目指していきたいと思っているので、ご理解をいただきたい。</p>

14	認定率を上げないようにするために頑張るのは、行政ではなく我々市民だと思う。	行政も皆さんと一緒に頑張っていききたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。
----	---------------------------------------	---

● 旭圏域説明会（令和6年1月18日）

参加人数：26名

No.	意見等	回答
1	<p>退職したスタッフを再雇用しなければならぬほど、介護施設では人の確保が大変で、働く人が根本的に足りていないと感じている。</p> <p>施設へ入所した人が、1日中車いすに乗っていて、状態が悪くなるようなケースも聞いたことがある。</p> <p>人材不足に対して、どう対処していくのか。</p>	<p>国も介護人材の確保を重点課題とし、介護職員の賃金をアップするための施策を行っている。</p> <p>また、人材の定着は賃金の改善だけではなく、働きやすい職場づくりが大切だということも聞いている。他施設での良い取り組みがあれば、それを情報共有するなど、職場環境の改善を促すことも大切であると感じている。</p> <p>そのほか、組合では介護の経験がない人を対象に研修を実施したり、介護職員のスキルアップにつながるような研修も行っているため、今後も継続していききたいと考えている。</p>
2	<p>事業計画にある地域住民の支え合いは、まちづくりにもつながる考え方だと思うが、市では似たような施策を別々の部署がそれぞれにしているように感じる。</p> <p>分野は違っても目指すところは同じだと思っているので、今後、一体的に取り組むことはできないのか。</p>	<p>計画が目指す人のつながりや支え合いの仕組づくりは、まちづくりの考え方と共通するものだと考える。</p> <p>介護保険事業は、浜田市や江津市と連携して進めているので、ご指摘があったことについては、両市と情報共有をしていききたいと考える。</p>
3	<p>浜田市で介護予防が進んでいないと感じている。</p> <p>江津市では、健康づくりと介護予防は一体的な取り組みとして考えているようだが、浜田市でその考えは見られない。</p> <p>これは組織の問題なのか、それとも担当課の問題なのかわから</p>	<p>介護保険事業は、組合と浜田市、江津市が連携して行っている。</p> <p>一方の市で良い取り組みがあれば、お互いに共有することができるので、その強みを活かしていきたい。</p> <p>浜田市、江津市の担当者とは定期的に会議の場を持っているので、今回いただいた意見は共有していきたい。</p>

	ないが、今の体制では介護予防は進まないと思っている。	
--	----------------------------	--

● 金城圏域説明会（令和 6 年 1 月 19 日）

参加人数：22 名

No.	意見等	回答
1	令和 5 年度に、新規で設置された通いの場はどのくらいあるのか。	本日は資料を持ち合わせていない。 通いの場の設置数は、浜田市で把握をしているのでそちらで確認してほしい。
2	介護保険料の試算は 6,736 円だが、国の報酬改定を踏まえて保険料が確定するのはいつか。	現時点で把握している報酬改定の情報に基づく試算では 6,900 円、7,000 円くらいとなっている。できるだけ、第 8 期の保険料 6,600 円を超えないようにしたいと思っている。
3	浜田圏域の保険料は、全国や島根県と比べて高い。見直すことはできないのか。	保険料は保険者ごとに決まっており、第 8 期は県内で 3 番目に高い保険料だった。 要介護認定率が高ければ、それだけサービスが使われるため、保険料はどうしても高くなる。ただ、一方では保険料が高いということは、それだけサービスの種類があり、選択肢が多いということでもある。 このままいけば、令和 12 年度の保険料は、8,000 円くらいになるとの試算も出ているので、介護予防に力を入れていき、保険料の上昇をできるだけ抑えていきたいと思う。 国も保険料の上昇を抑えるため、給付費の支出を抑えることを検討している。第 10 期計画では、保険料を抑制するために、住民のみなさんの痛みを伴うような改正もあるかもしれないが、その時はご理解をいただきたいと思う。
4	保険料の試算はどこでやるのか。誰がやるのか。どうやってやるのか。誰が決定するのか。	保険料の試算は、保険者である組合が全国一律のシステムを使って、現状と今後の推計等を基に総合的に行っている。 計画の内容については、諮問機関であ

		<p>る介護保険事業計画策定委員会で検討をしており、委員には医師や住民の代表者などに入ってもらっている。</p> <p>この委員会で、保険料を含む計画内容をしっかり検討してもらい、組合管理者への答申、決裁を経て組合議会へ上程し、議決を受けて決定することになる。</p> <p>最終的に決定を行うのは議会であり、住民の皆さんということになる。</p>
5	<p>定期巡回と看多機について、サービスの内容が分からない。</p> <p>整備目標では、定期巡回と看多機それぞれ1事業所とあるが、高齢化する中で事業所の数は足りるのか。</p>	<p>【定期巡回と看多機の説明を行った】</p> <p>定期巡回は、現在、浜田市に1事業所、看多機は浜田市に2事業所、江津市に1事業所がある。</p> <p>これらのサービスは、医療系サービスであるため、医師との連携が必要になり、簡単に整備することができない。</p> <p>よって、第9期ではそれぞれ1事業所を整備することにしているが、第10期以降も必要に応じて検討していきたいと考えている。</p>